

SUPAIR

Japanese



STRIKE 2

取扱説明書

SUPAIR SAS
PARC ALTAÏS
34 RUE ADRASTÉE
74650 ANNECY CHAVANOD
FRANCE

RCS 387956790

Revision index : V1 08/02/2021



ストライク2をお買い上げいただきありがとうございます！私たちは、共通の情熱であるパラグライディングで、あなたのお供ができることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年以來フリーフライトに使用される装備をデザインし、製造し、販売をしてきました。スップエアー製品を選択することにより、35年以上に渡る技術革新とフィードバックによる成果を手に入れることとなります。また私たちの哲学は:より良い製品を開発するためにたゆまず努力しヨーロッパでの高い製造品質を保ち続けることです。

この取扱説明書が包括的かつ分かり易いもの、そして願わくばためになるものであると思っただけの事を願っています。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新された製品情報をスップエアーのHP(www.supair.com)で確認することができます。ご質問等がある場合には最寄りの販売店にお気軽にご相談ください。もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)。

多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを望んでいます。

スップエアーチーム

目次

| | | | |
|-------------------------|----|--------------------|----|
| はじめに | 4 | フライトの各段階 | 31 |
| スペック | 5 | プレフライトチェック | 31 |
| サイズチャート | 6 | テイクオフ | 31 |
| 構成部品 | 7 | 空中 | 32 |
| ハーネス外観図 | 8 | アクセルの使用 | 32 |
| アクセサリーのセットアップ | 9 | ランディング | 32 |
| カラビナ | 9 | レスキューパラシュートを使う | 33 |
| 脱着可能コンフォートプレート | 9 | トーイング | 33 |
| シートプレート | 10 | 必須点検項目 | 33 |
| バンプエアー | 11 | 保守 | 34 |
| インフレーターブルプロテクション | 11 | クリーニングおよびお手入れ | 34 |
| アクセルシステム | 13 | 保管および運搬 | 34 |
| レスキューのセットアップ | 14 | 耐用年数 | 34 |
| レスキューコンテナの特徴 | 14 | 修理 | 35 |
| レスキュートグルをインナーコンテナに取り付ける | 14 | 交換部品 | 35 |
| ハーネスにブライダルを接続する | 15 | 素材 | 35 |
| ブライダルをガイドスリーブに収納する | 16 | リサイクル | 35 |
| ブライダルとレスキューの接続 | 17 | 保証 | 36 |
| レスキューをコンテナに収納する | 18 | 免責事項 | 36 |
| レスキュートグルを固定する | 23 | フライト装備 | 36 |
| 収納および心遣い | 24 | バンプエアー衝撃吸収システムに関して | 37 |
| ハーネスの調節 | 25 | 事故が起きたら | 38 |
| 調節項目 | 25 | 整備履歴 | 39 |
| ハーネスの調節 | 26 | | |
| スピードバッグの調節 | 27 | | |
| ライダーとハーネスの接続 | 28 | | |
| ハーネスの装着 | 29 | | |
| フライト中の拳動 | 30 | | |

はじめに

スップエアー流パラグライディング一情熱を分かち合うーの世界へようこそ！

ストライク2は、軽量高性能の領域に参加するためには理想的なハーネスです！ストライクXアルプスをベースとするこのハーネスはハイグランドフライならびにクロスカントリーフライパイロット向けにデザインされています。従ってパラグライディング活動に十分精通した経験豊富なパイロット用となっています。

考え抜かれた設計と素材の選択は、快適さおよび軽さ念頭に考慮されています。

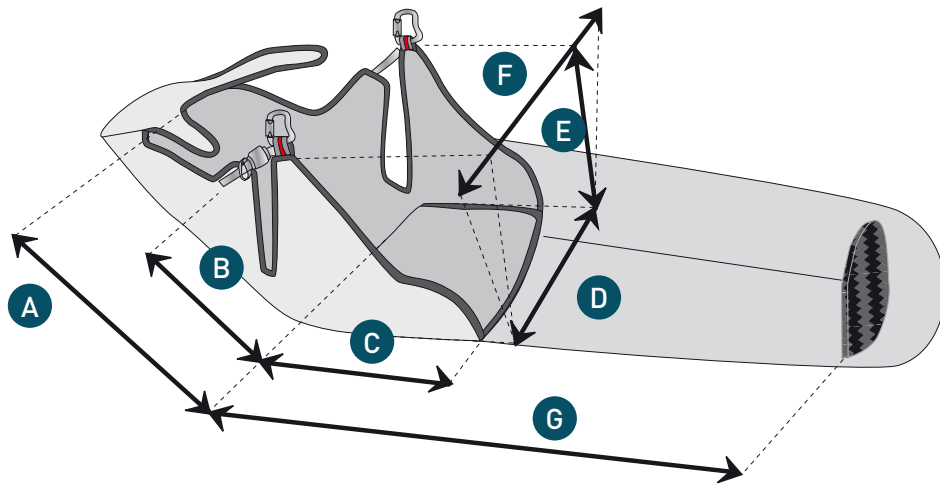
ストライク2は、EN 1651 : 2018 および LTF Nfl II 91/09 認証を取得しています。したがってヨーロッパおよびドイツの安全基準に適合しています。

この取扱説明書を読んだ後、初めてフライトする前に必ず、シミュレーターにぶら下がりてハーネスのチェックを確実にしてください。

ストライク2は軽量ハーネスです。靴紐をフックで絞めるタイプの靴を履いてフライトはしないように。スピードバッグに絡んで引き裂く恐れがあります。

注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。





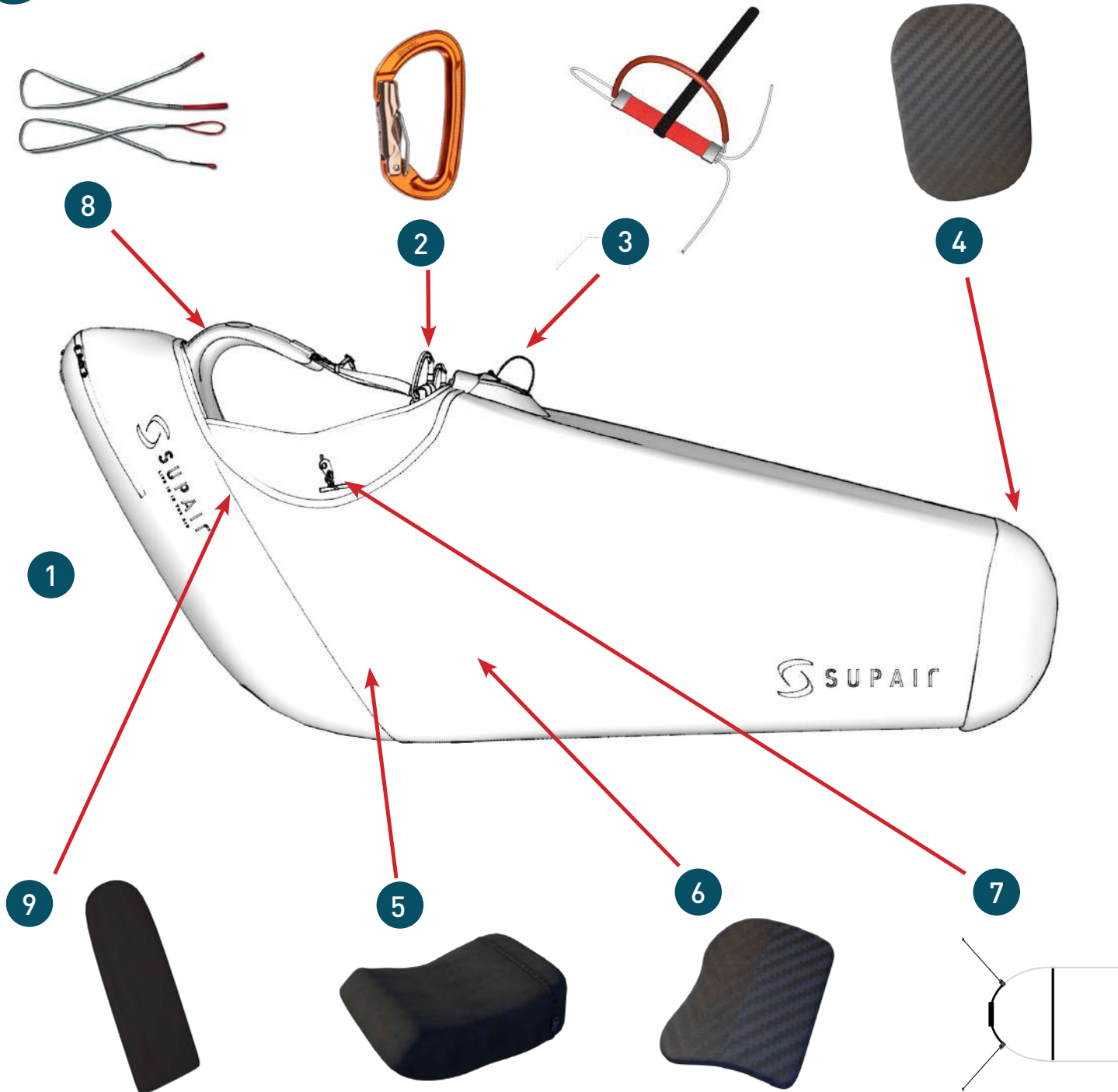
- A 背もたれ高さ
- B リクライニング調節高さ
- C シート深さ
- D シート幅
- E カラビナ高さ
- F カラビナ間距離
- G スピードバッグ長さ

| ハーネスサイズ | S | M | L | XL |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| パイロット身長 (cm) | 155-170 | 165 -185 | 175 -195 | 185 -205 |
| パイロット体重(最小—最大) (kg) | 50- 85 kg | 65 - 95 kg | 70 - 105 kg | 90 - 120 kg |
| 機体とカラビナを除く最大飛行重量(kg) | 120 dNa (約 120 Kg) | 120 dNa (約 120 Kg) | 120 dNa (約 120 Kg) | 120 dNa (約 120 Kg) |
| ハーネス重量(納品時の全装備品含む) (kg) | 約 2.3 kg | 約 2.4 kg | 約 2.5 kg | 約 2.55 kg |
| 使用目的 | パラグライディングのみ | | | |
| A 背もたれ高さ (cm) | 58 | 65 | 68 | 72 |
| B リクライニング調節高さ (cm) | 34,5 | 36,5 | 39 | 41 |
| C シート深さ (cm) | 45 | 45 | 47 | 47 |
| D シート幅 (cm) | 33 | 33 | 35 | 35 |
| E カラビナ高さ (cm) | 40 | 40 | 42 | 44 |
| F カラビナ間距離 (cm) | 38-46 | 38-46 | 40-48 | 40-48 |
| G スピードバッグ長さ (cm) | 91 | 96 | 103 | 108 |
| 衝撃吸収システム | バンプエアあるいは膨張式プロテクション | | | |
| 認証 | EN 1651 | | | |
| タンデムフライト(パイロット/パッセンジャー) | / | | | |
| トーイング | Yes | | | |
| リリースカラビナ対応 | No | | | |
| レスキューコンテナ容量 | S/M : 約 4,5L L/XL : 約 4,75L | | | |

サイズチャート

ハーネスのサイズ選択は大変重要です。下にサイズを選択する際の目安となるチャートを用意しました。しかしながらこのハーネスはハンモックスタイルでフライト姿勢がよりフラットになるので最寄りの販売店で実際にシミュレーターにぶら下がって異なるサイズのハーネスを試し、正しいサイズを選択することを推奨します。

| 身長 体重 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m90 | 1m95 | 2m00 | 2m05 |
|----------|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|------|------|
| 50 | S | S | | | | | | | | | |
| 55 | S | S | S | S | | | | | | | |
| 60 | S | S | S | S | | | | | | | |
| 65 | S | S | S | S | M | M | | | | | |
| 70 | S | S | S | SまたはM | M | M | MまたはL | | | | |
| 75 | | S | S | SまたはM | M | M | L | L | | | |
| 80 | | | SまたはM | M | M | MまたはL | L | L | L | | |
| 85 | | | SまたはM | M | M | L | L | L | L | | |
| 90 | | | | M | MまたはL | L | L | L | LまたはXL | XL | XL |
| 95 | | | | | MまたはL | L | L | LまたはXL | LまたはXL | XL | XL |
| 100 | | | | | | L | L | XL | XL | XL | XL |
| 105 | | | | | | | LまたはXL | XL | XL | XL | XL |
| 110 | | | | | | | | XL | XL | XL | XL |
| 115 | | | | | | | | | XL | XL | XL |
| 120 | | | | | | | | | | XL | XL |



構成部品

- ① ハーネス本体
- ② グリベル製カラビナ・プリウムワイヤーロックK3L
- ③ レスキュートグル
- ④ カーボンフットプレート
- ⑤ バンプエアー STK2
- ⑥ カーボンシートプレート
- ⑦ スピードバッグ用2段ライトアクセル
- ⑧ レスキューブライダル(ソロ)
- ⑨ コンフォートバックプレート

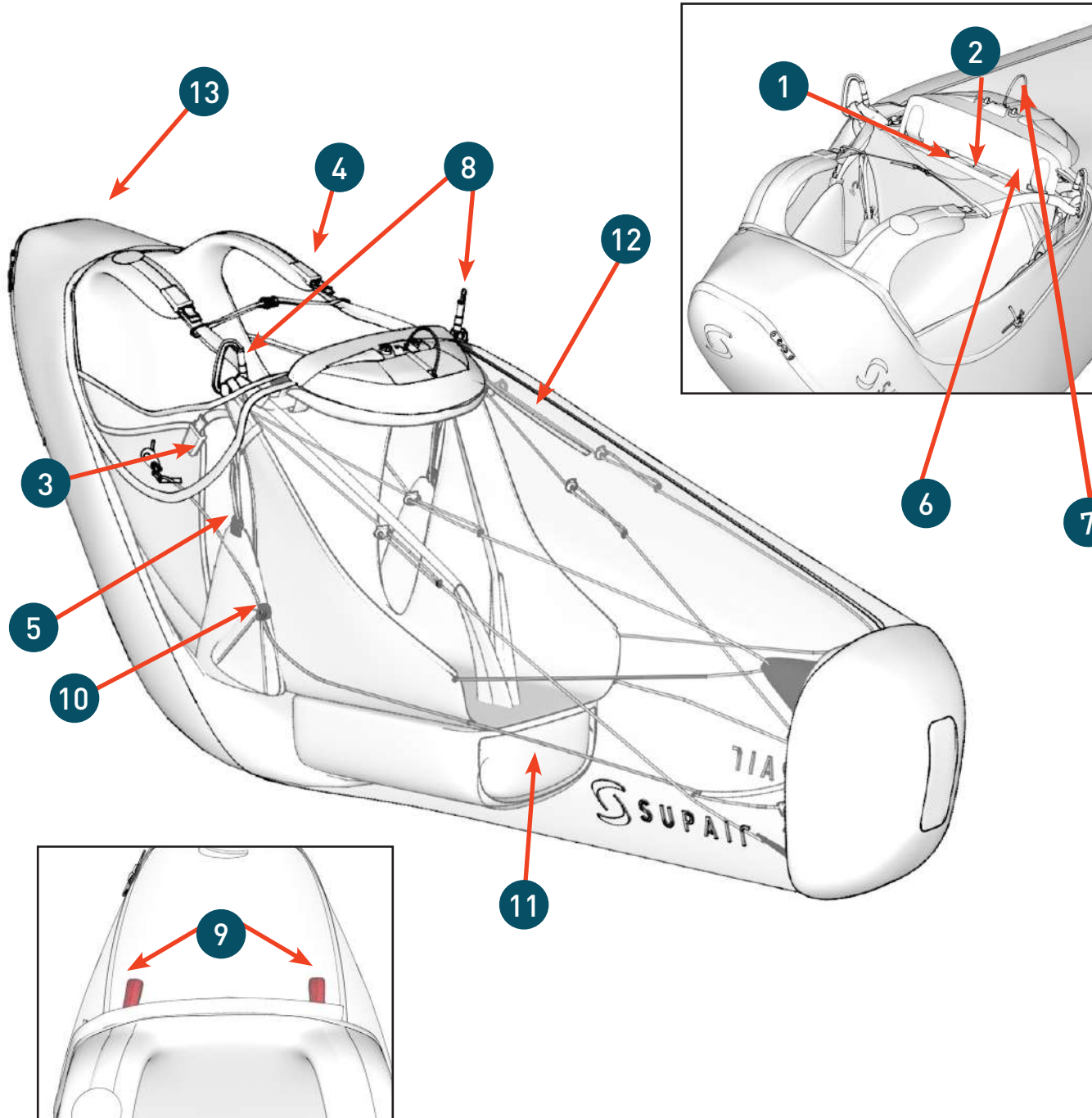
オプション

トレックライトザック
(商品コード:SACTREKLIGHT)

インフレータブルプロテクション
(商品コード:PROGONF)

ダイニーマ製コネクタ
(商品コード:MAILCONNECT)

ハーネス外観図



- ① チェストベルト
- ② チェストベルト長さ調節
- ③ リクライニング角度調節
- ④ 肩ベルト長さ調節
- ⑤ シート高さ調節
- ⑥ レスキューコンテナ
- ⑦ レスキュートグル
- ⑧ メインハングポイント
- ⑨ レスキューブライダル接続ポイント
- ⑩ アクセルロープ用プーリー
- ⑪ バンプエアプロテクション
- ⑫ 小物ポケット
- ⑬ 背部収納ポケット

アクセサリーのセットアップ

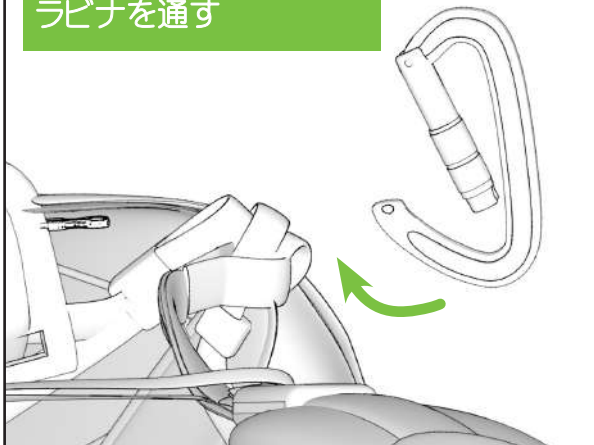
カラビナ

対応するカラビナ:

グリバル製カラビナ・プリウムワイヤーロックK3L

商品コード: MAILMOUSGRIVK3L

メインハングポイントにある3つのテープにカラビナを通す



カラビナが回転するのを防ぐためにリングで固定する



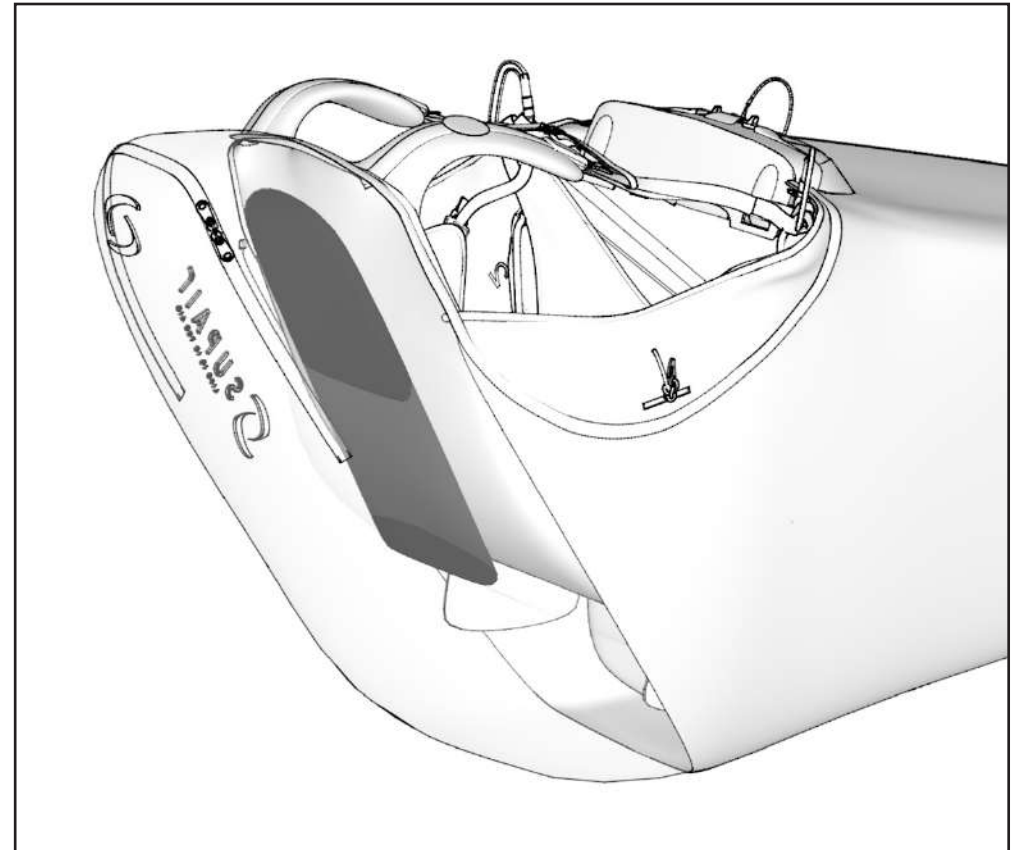
ストライク2はダイニーマ製コネクタ(商品コード:MAILCONNECT)を使用することが可能なようにデザインされています。

コネクタを使用すると軽くなり、Xアルプス用ハーネスのようにレッグベルトが固定されます。ハーネスの装着はクライミングハーネスと同じ様になります。



脱着可能コンフォートプレート

1. 背部収納背部収納ポケットのファスナーを開ける
2. プレート収納用ポケットのファスナーを開ける
3. プレートを挿入し、両ファスナーを閉める



コンフォートプレートはよりスポーツ的使用のために取り外すことが可能です。取り外すことでハーネスは軽くなり、ただた時によりコンパクトになります。

シートプレート

ストライク2はシートプレートを装着してもしなくても使用することが可能です。

座板を装着してフライトすると堅い座り心地とよりしっかりとした体重移動が可能となります。その結果グライダーからの情報が豊富になりより正確なコントロールが出来ます。シートプレートはまた、サイドからの圧迫を防ぎより快適な座り心地を提供します。

シートプレートを外してフライトすると座り心地が柔軟になりハングポイントが僅かに高くなります。従ってハーネスはよりニュートラルな感覚になりより安定します。またグライダーが通常フライト状態から逸脱した際に、座板によってもたらされる体重移動およびコントロールの正確さを補うために正確な操縦が要求されることに注意してください。

対応するシートプレート: S/Mサイズ用 : 商品コード MPPL021、L/XLサイズ用 : 商品コード MPPL025

シートプレートを挿入する:

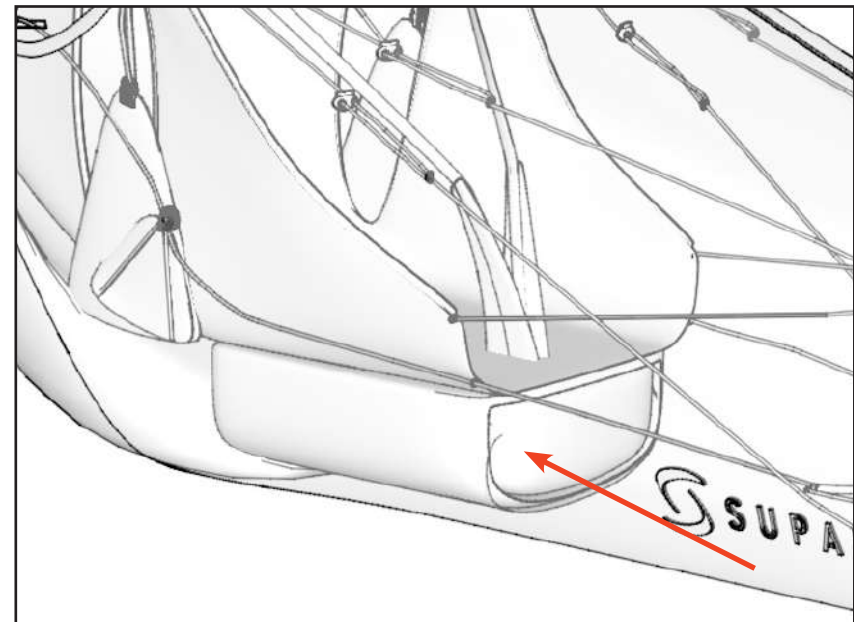
1. シート下部に位置するポケットのファスナーを開ける
2. シート下部に位置するベルクロを開ける
3. シートプレートを挿入しベルクロを閉め、ファスナーを閉める

後ろ



前

飛行方向



アクセサリのセットアップ

ストライク2はバンプエアーあるいはインフレーターブルプロテクションを使用することが可能です。

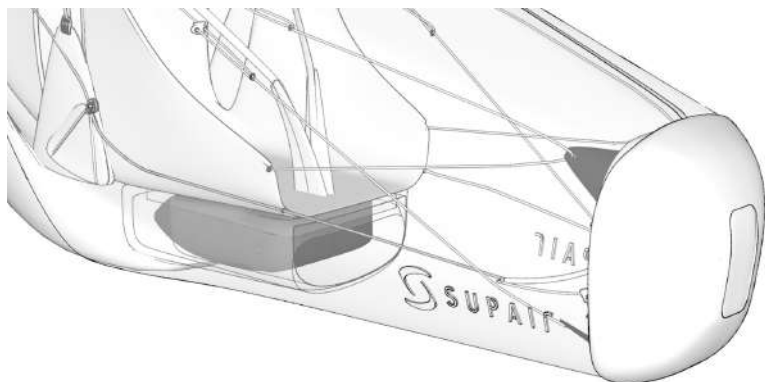
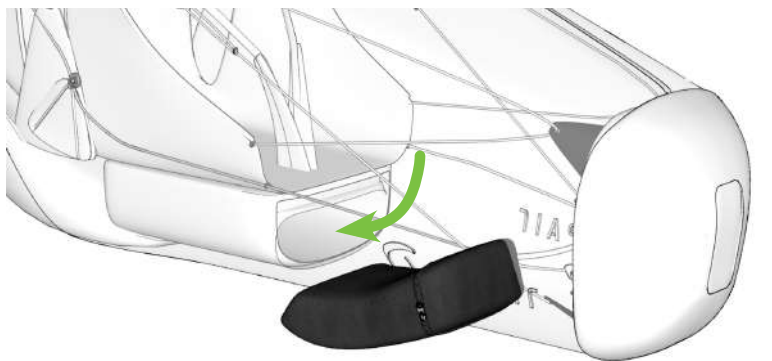
バンプエアー

対応するバンプエアー: **BUMP STK 2**

商品コード: PROBUMPSTK2

バンプエアーの挿入:

1. シート下部に位置するポケットのファスナーを開ける
2. プロテクション用ポケットのファスナーを開ける
3. バンプエアーを挿入し、両ファスナーを閉める



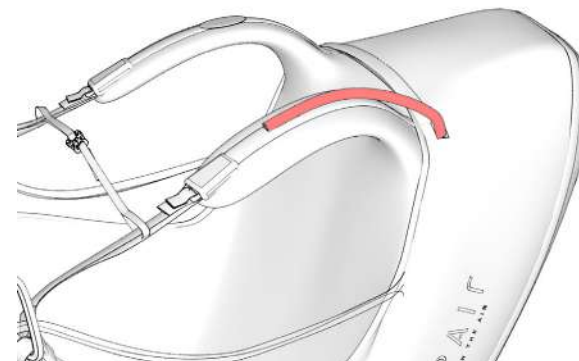
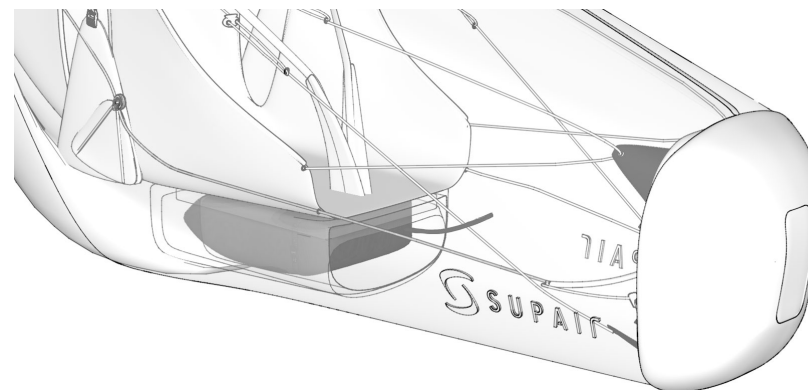
インフレーターブルプロテクション

対応するプロテクション: ストライク2用インフレーターブルプロテク

ション商品コード: PROGONF

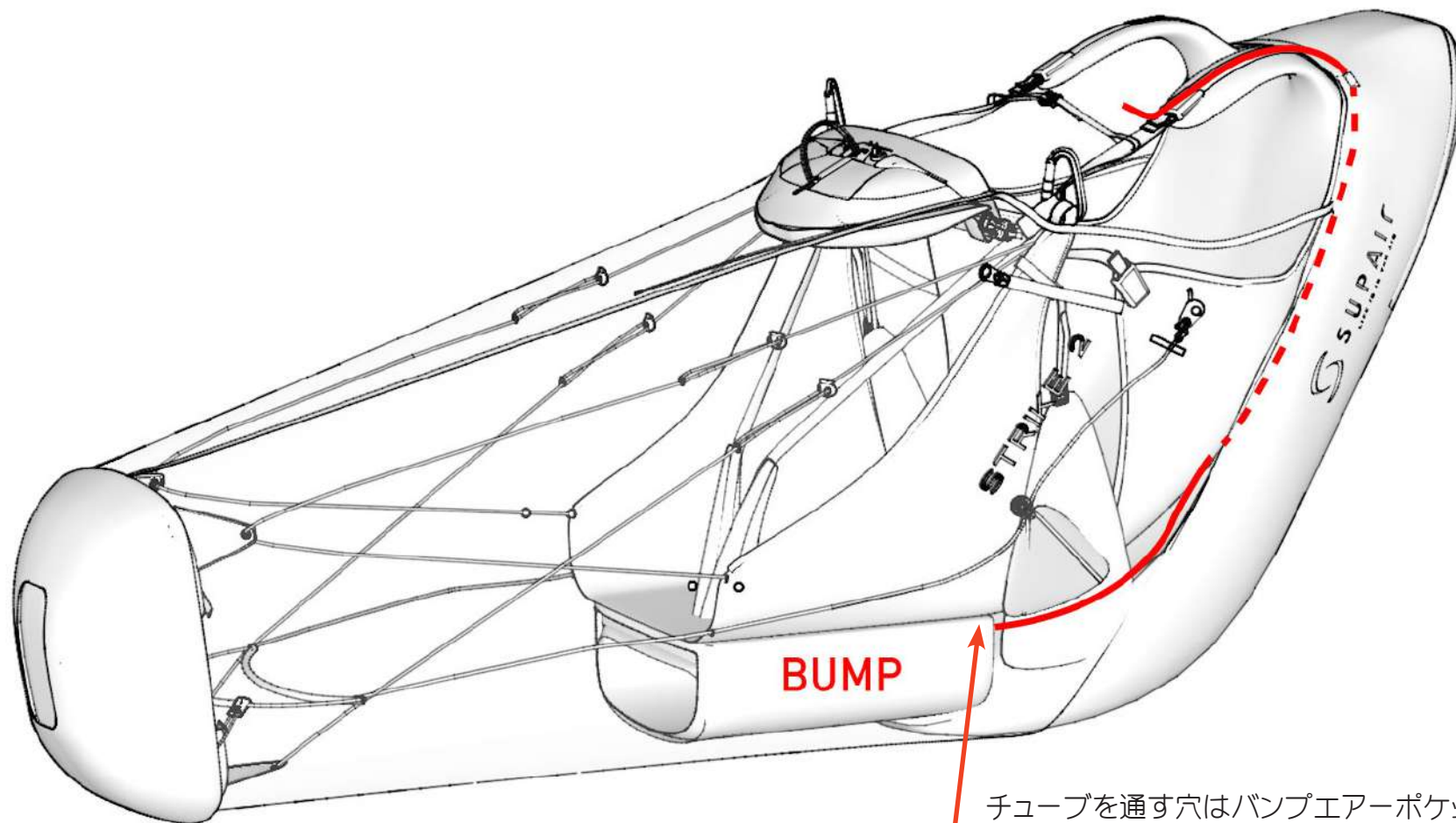
インフレーターブルプロテクションの挿入:

1. シート下部に位置するポケットのファスナーを開ける
2. プロテクション用ポケットのファスナーを開ける
3. インフレーターブルプロテクションを挿入し、両ファスナーを閉める
4. 肩口に位置する取り出し口からパイプを取り出す



インフレーターブルプロテクション

インフレーターブルプロテクションのチューブの経路



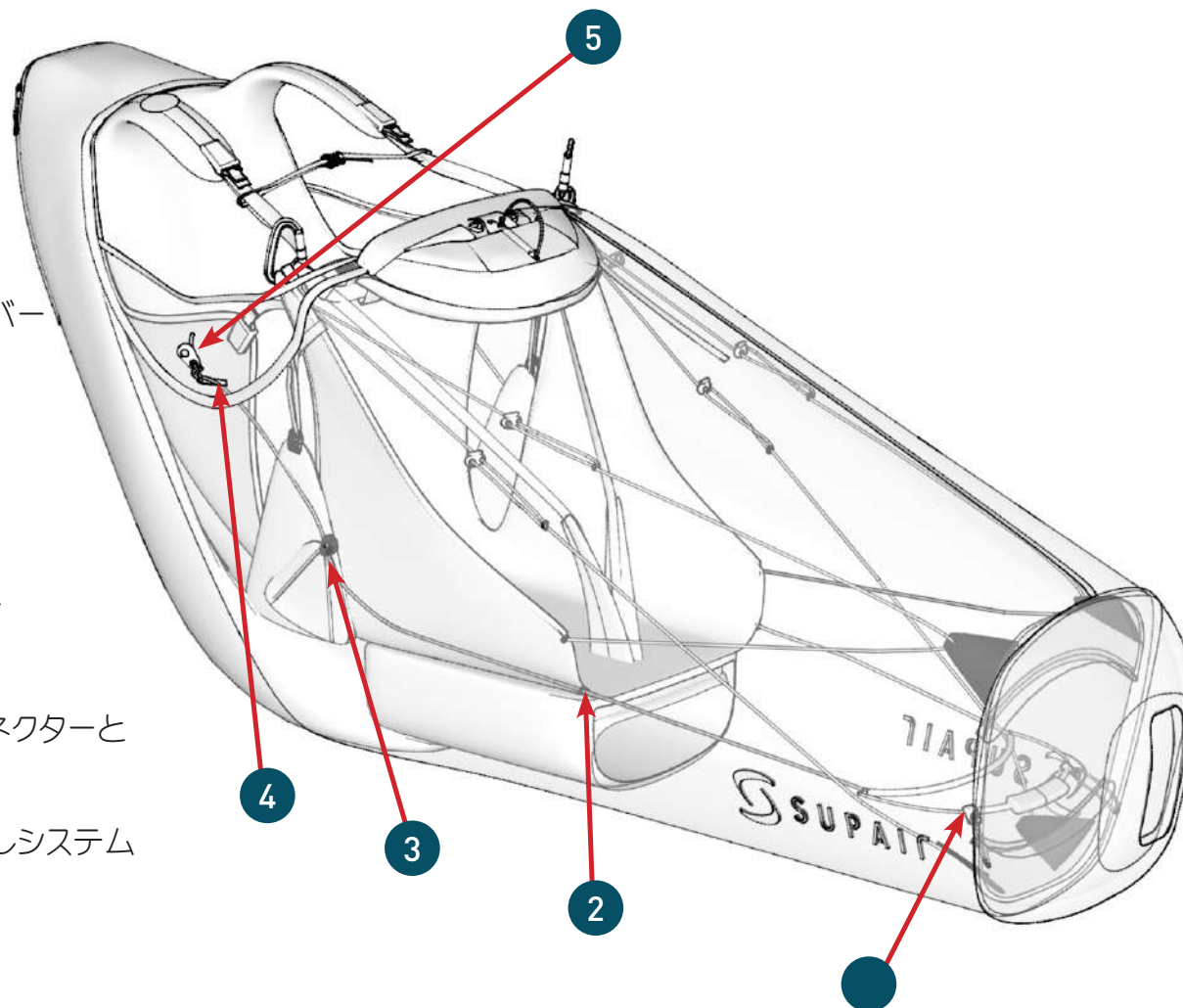
チューブを通す穴はバンプエアポケットの最奥、上部にあります。


アクセラシステム

対応するアクセラ:
スピードバッグ用2段ライト:ACCEL2BLIGHTSPBG

アクセラのセットアップ:
ハーネスの両サイドに行う:

- ① フットプレート下方に位置する三角形のタブにアクセラバーのバンジーコードを通しストッパーとして結び目を作る
- ② アクセルラインをシート下部のリングに通す
- ③ アクセルラインをハーネスサイドにあるプーリーに通す
- ④ スピードバッグサイドにあるスリットからラインを取り出す
- ⑤ 最後に、取り出したラインをグライダー側のアクセラコネクタと接続するためのブルメルフックを接続する
- ⑥ ラインをスライドさせてアクセラ操作をシミュレーションしシステム全体が問題なく機能しているかを確認する



 アクセルラインが短過ぎにセットされていないか慎重に確認してください。大変危険です。アクセラを作動していないときにアクセララインにテンションがかかってはなりません。

レスキューのセットアップ

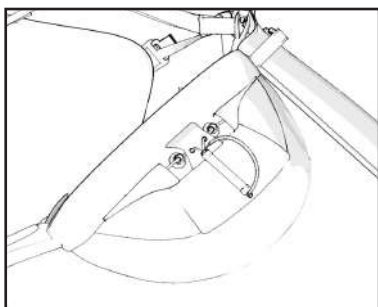


以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。レスキューパラシュートのパッキングはそのレスキューパラシュートの製造メーカーの指針に従い、ハーネスへのセットアップは本取扱い説明書に従って行って下さい。それ以外の方法に起因する事象に対しての責任は負いかねます。

レスキューパラシュートの大きさはパッキング方法により異なります。

我々はスップエアーのパラシュートでコンテナサイズを確認しています。他のパラシュートも対応すると考えられますがシステム全体が正しく機能するかの確認はご自身で行って下さい。

レスキューコンテナの特徴



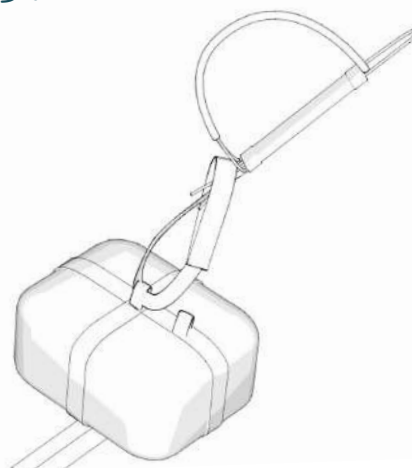
- ケーブルによるクローズシステム
- 容量 約4,5 および 4,75リットル
- スップエアーのレスキュー、シャイン、フルードライトならびにその他のソロ用レスキューに対応

| ストライク2 S,Mサイズ | | | |
|---------------|---|---|---|
| 対応するレスキュー | S | M | L |
| シャイン | ✓ | ✓ | * |
| フルードライト | ✓ | ✓ | ✓ |

| ストライク2 L,XLサイズ | | | |
|----------------|---|---|---|
| 対応するレスキュー | S | M | L |
| シャイン | ✓ | ✓ | ✓ |
| フルードライト | ✓ | ✓ | ✓ |

レスキュートグルをインナーコンテナに取り付ける

- 1 インナーコンテナの中央部のループにレスキュートグルをヒバリ結びで取り付けます。



- 2 ヒバリ結びをきつく締め上げ、接続が強固であることを確認します。



ハーネスにブライダルを接続する

>> レスキューパラシュート接続ループへのアクセス

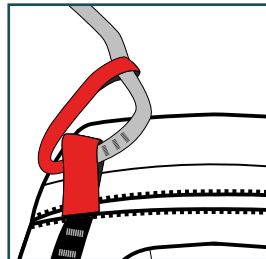
まず初めに、レスキューパラシュート接続ループへアクセスするためにブライダルガイドスリーブのファスナーをしっかりとオープンします。ブライダルガイドスリーブがしっかりとオープンされたらスライダーはレスキューパラシュートコンテナのそばに置いておきます。



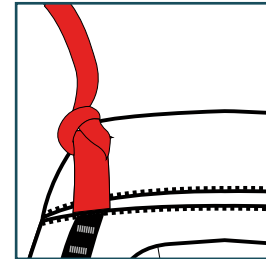
レスキューパラシュートを最適に開かせるために、ハーネスに付属のブライダルを使用することをお勧めします。

A ブライダルをヒバリ結びでハーネスに接続する。

① それぞれのブライダルをヒバリ結びで肩口にあるブライダル接続ループへ接続します。ブライダルの大きい方のループを使用してください。



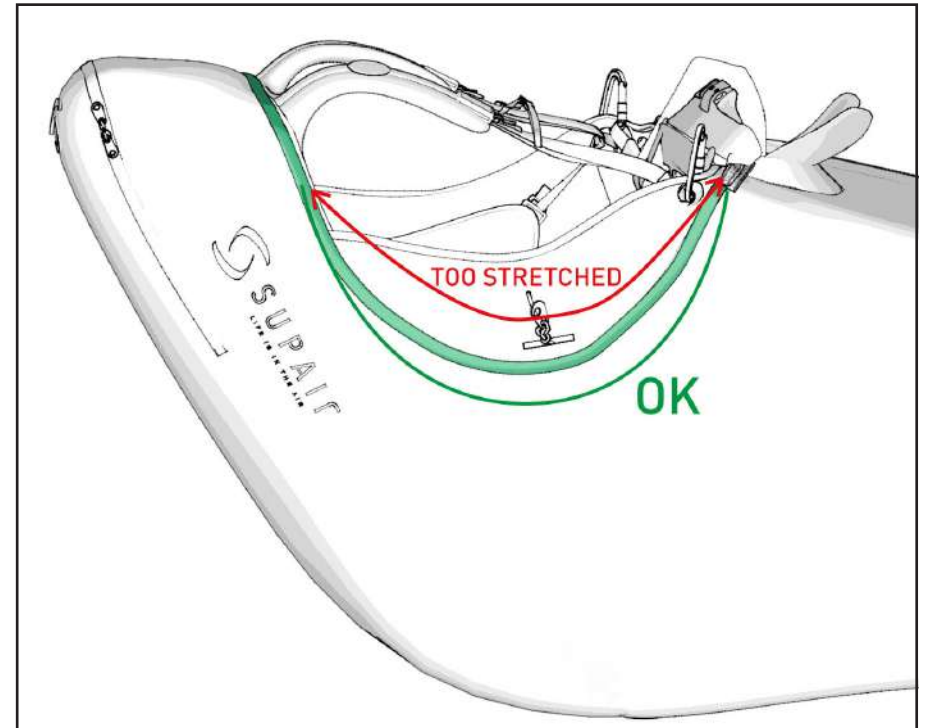
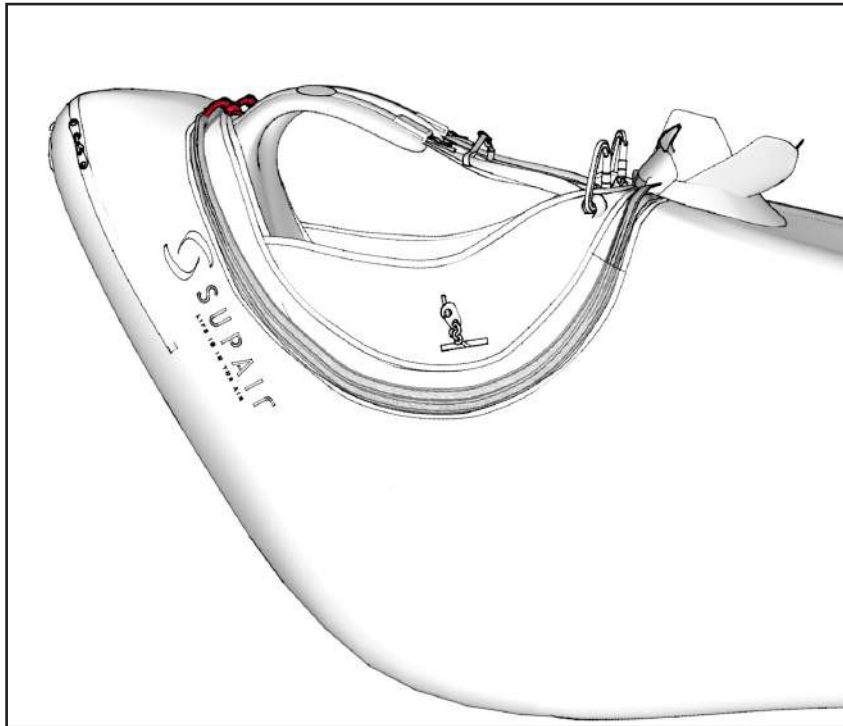
② 全てが正しく接続されブライルがずれないようにになっているかを確認します。もう一方のブライダルも同様に接続します。



③ ヒバリ結びを締め上げます。

ブライダルをガイドスリーブに収納する

ハーネスにはダイニーマ製1人用レスキューブライダルが付属しています。ガイドスリーブはこのブライダルのみが対応しています。



1 -ブライダルをハーネスサイドに沿って設けられたガイドスリーブ内にきれいに収めます。ブライダルを引っ張りすぎないように余裕をもって収めてください。

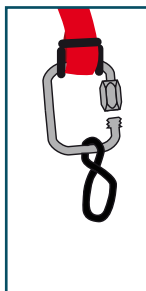
-ブライダルをレスキューコンテナの位置まで引き出しておきます。

2 -スライダーを左肩口までスライドさせてガイドスリーブを閉めます。

ブライダルとレスキューの接続

角型7mmラピッドリンク®1個とOリング2個を用意します。

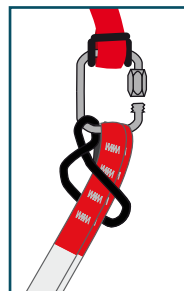
1



- レスキュー側のブライダルをOリングを使用してずれないようにラピッドリンク®に接続します。

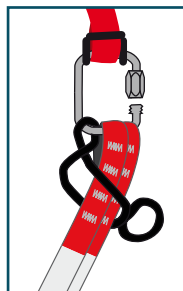
- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。

2



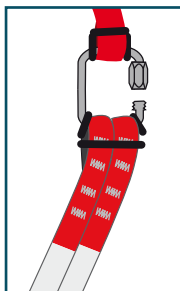
- ハーネス側の2本のブライダルをOリングに通してからラピッドリンク®に接続します。

3

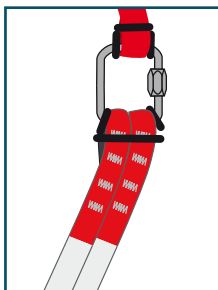


- Oリングをさらに1回ひねってからラピッドリンク®に通します。

4



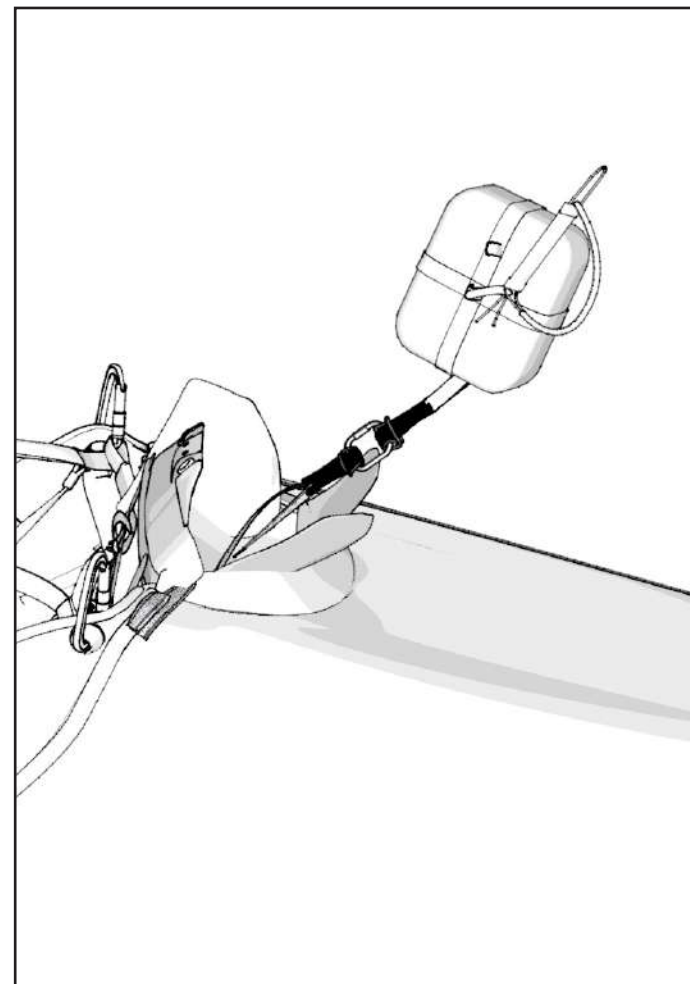
5



- ブライダルの接続がきれいに出来上がっているか確認します。

- ブライダルが容易にずれないことを確認します。

- ラピッドリンク®を手で閉めてから、プライヤーを使用してさらに4分の1回転増し閉めします。



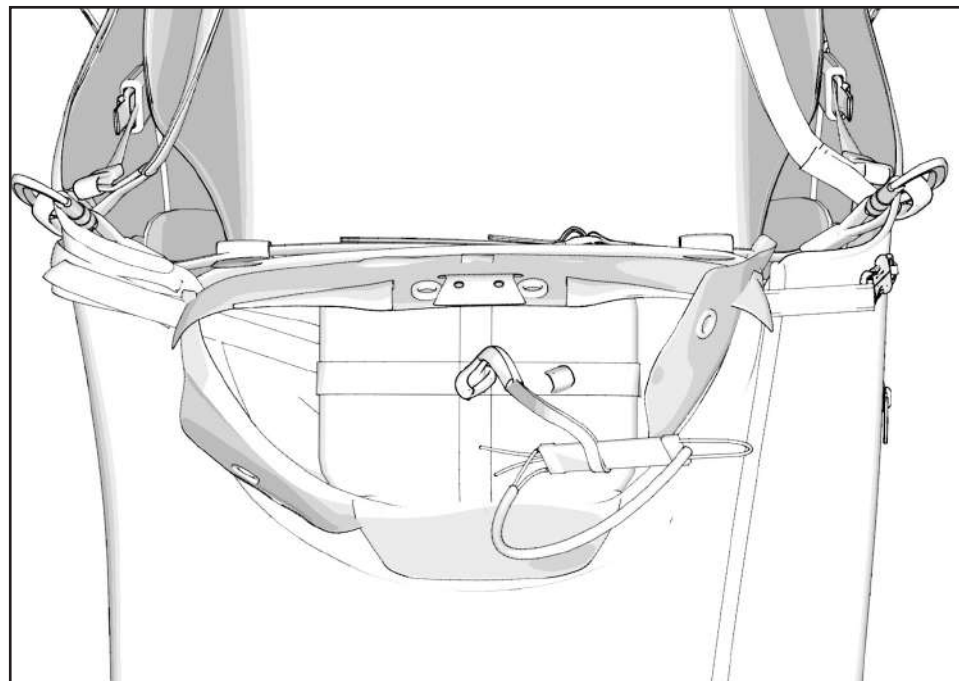
レスキューをコンテナに収納する



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

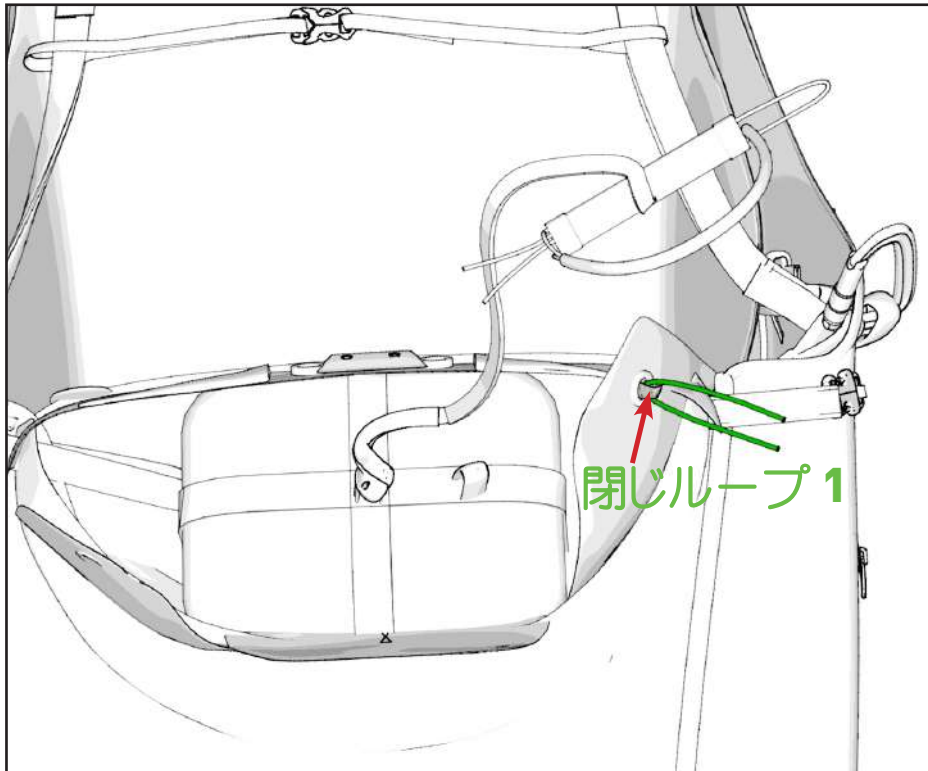
レスキューのハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。

1



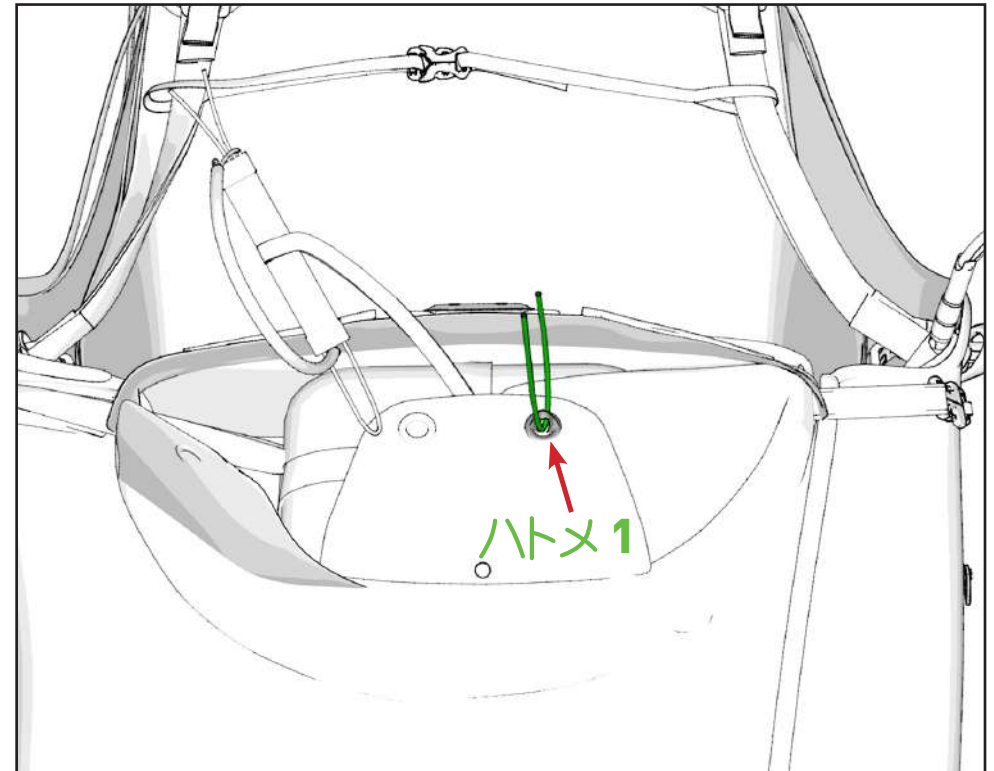
レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する



2

閉じループ # 1 に二つ折りになったガイドロッドを通します。

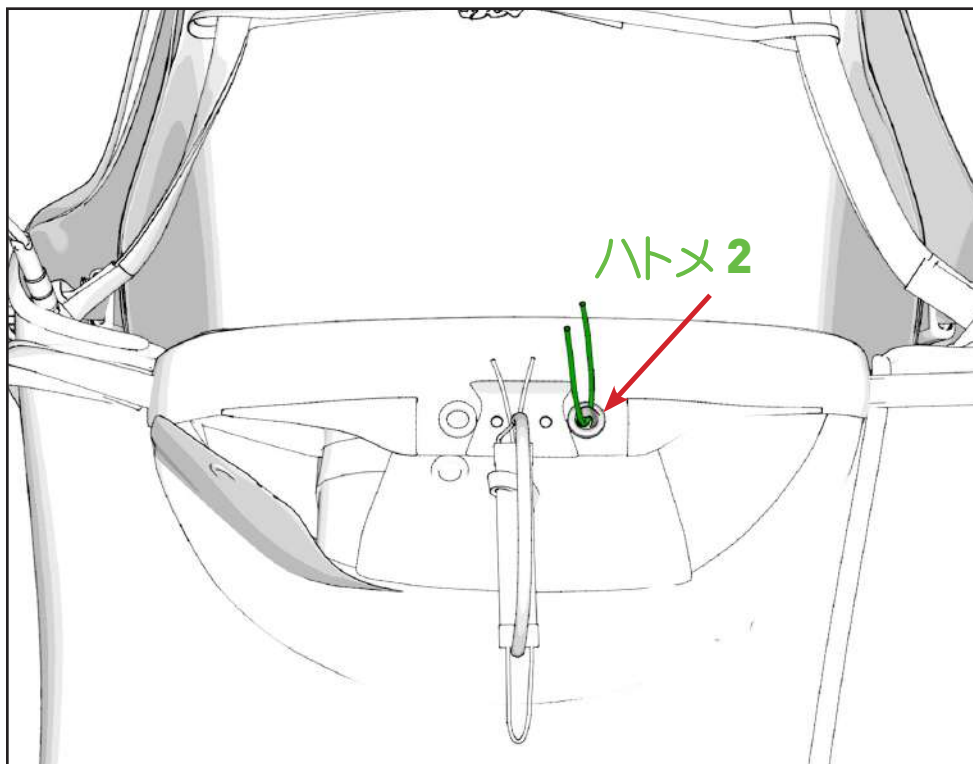


3

ガイドロッドを利用して閉じループをハトメ # 1 に通します。

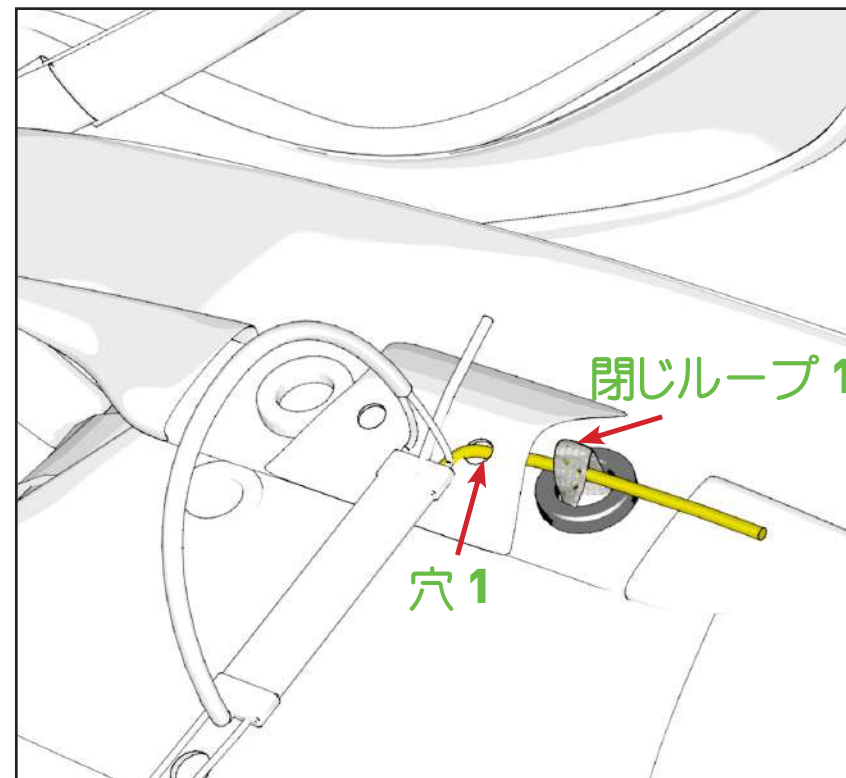
レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する



4

次にガイドロッドを利用して閉じループをハトメ#2に通します。



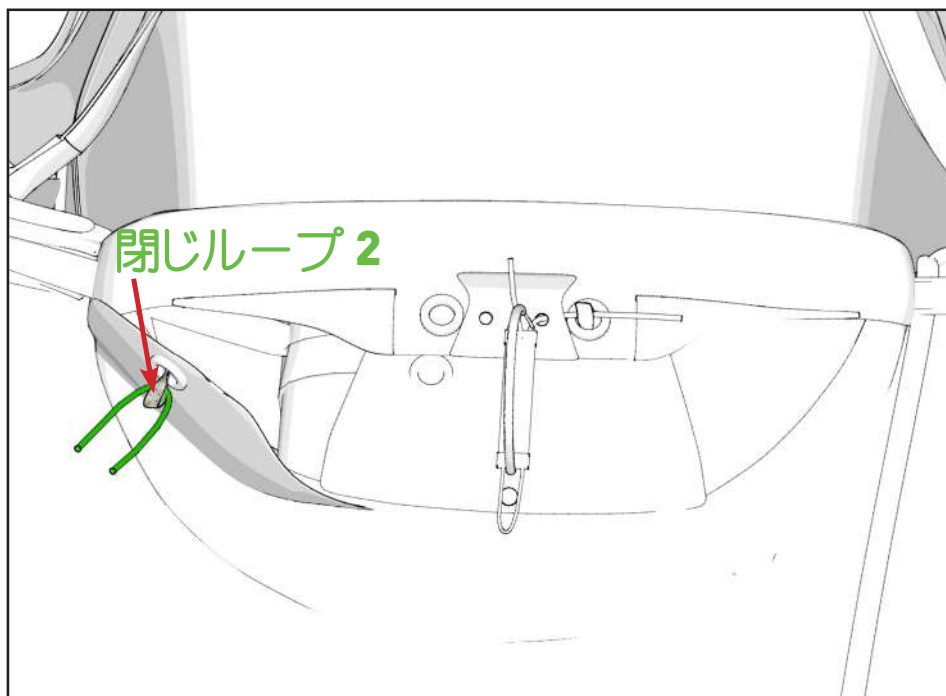
5

- レスキュートグルに付いているケーブルをまず穴#1に通してから閉じループ#1に通しロックします。

- ガイドロッドを引き抜きます。

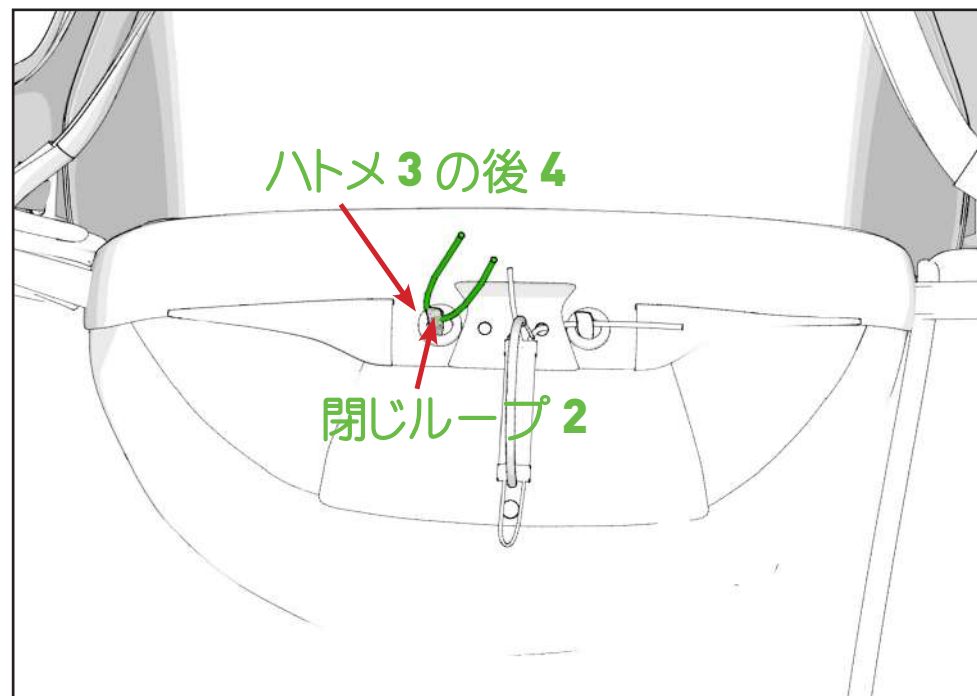
レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する



6

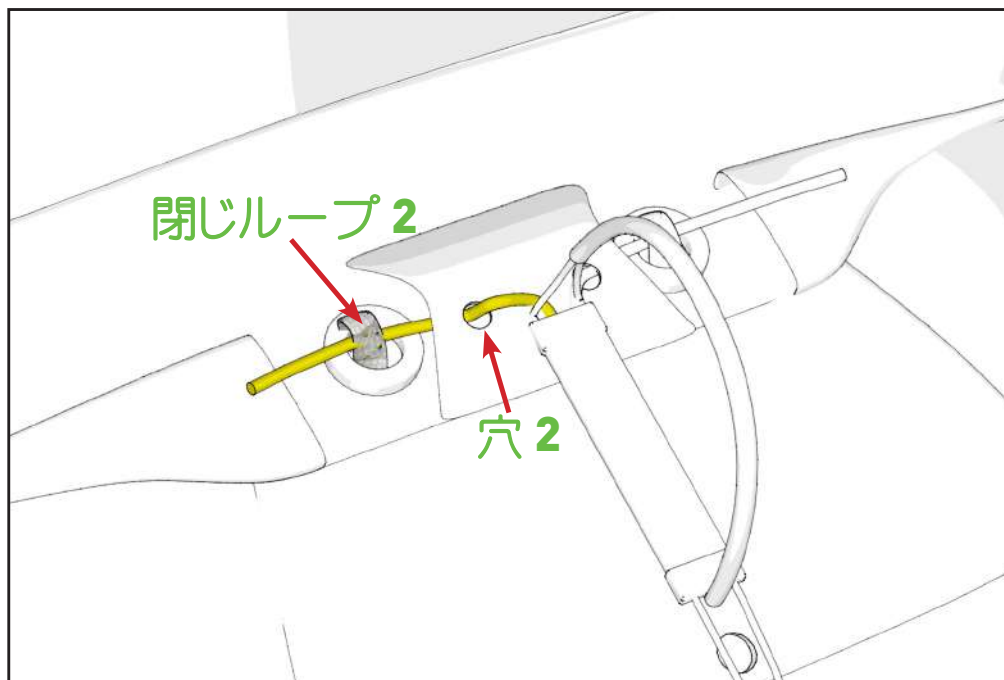
ガイドロッドを閉じループ #2に通します。



7

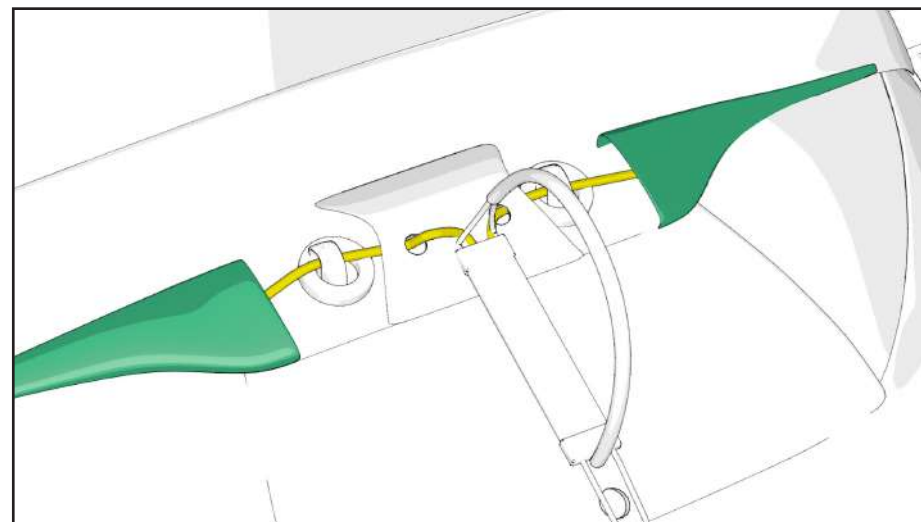
ガイドロッドを利用してループ #2をハトメ #3、#4の順に通します。

レスキューをコンテナに収納する



8

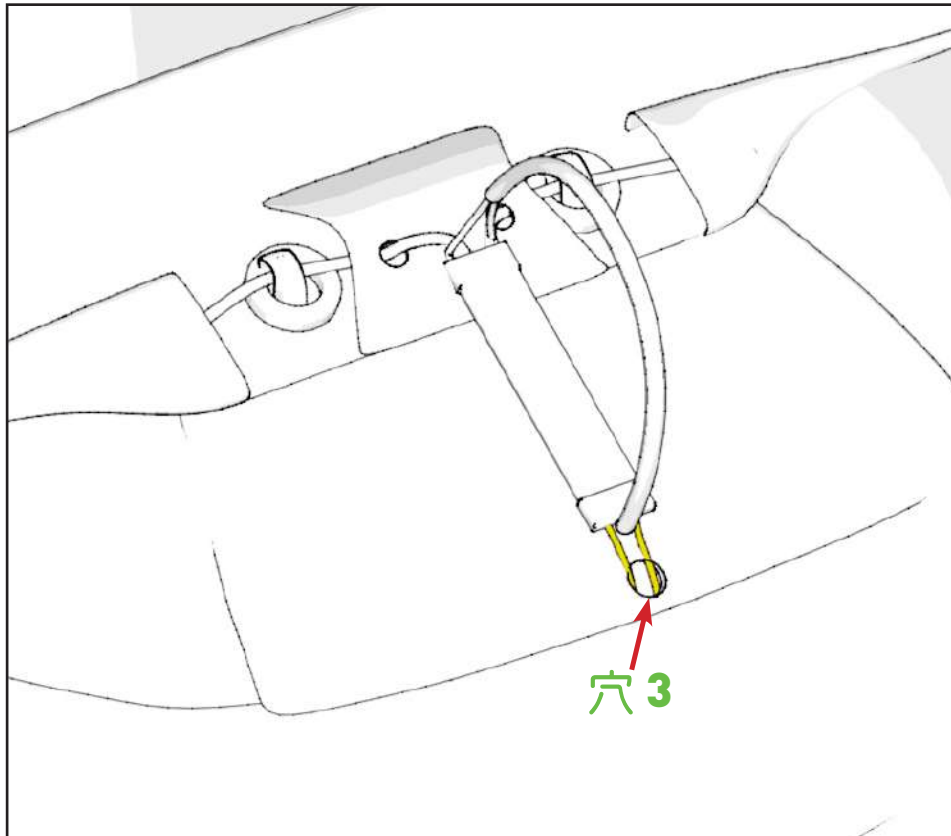
- 2本目のケーブルを穴 # 2に通してから閉じループ # 2に通してロックします。
- ガイドロッドを引き抜きます。



9

- ケーブルの先端をそれぞれのスリーブに挿入します。

レスキュートグルを固定する



10

ケーブルの曲がった先端を穴 # 3に刺し込み、トグルを固定します。

レスキューの引き出し確認は必須です



レスキューのセットアップが完了したらシミュレーターにぶら下がり引き出しテストを実施してください

セットアップが完了したら専門家に正しくセットアップされたか確認してもらってください。

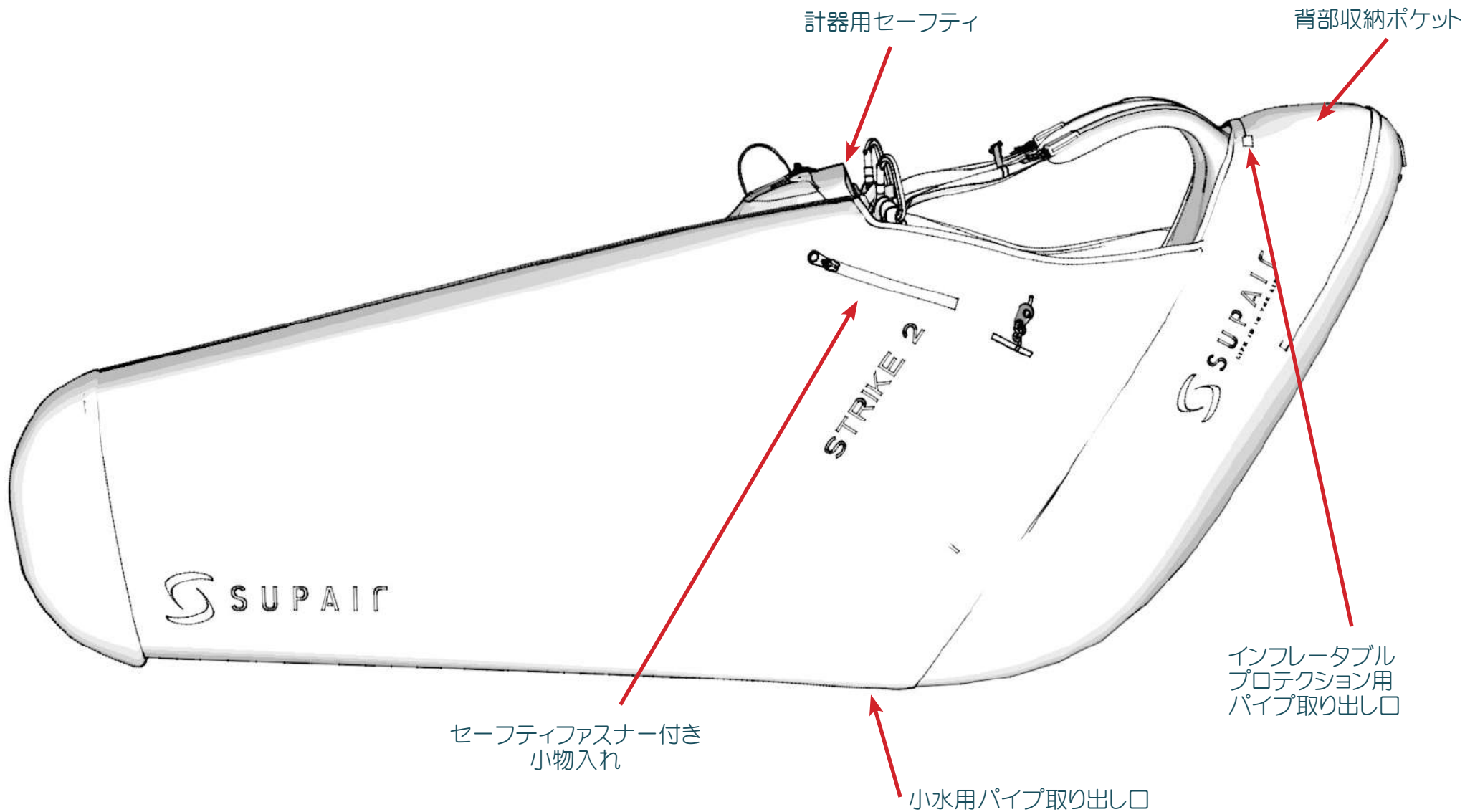
パッキングされたレスキューパラシュートの大きさは変動する可能性があるためレスキューパラシュートの引き出しテストの際にシステムが正しく機能しているかを確認してください。

6か月ごとに引き出しテストを実施する必要があります。

注意:引き出しテストは、必ずしもレスキューを開傘するところまで行う必要はありません。



収納および心遣い

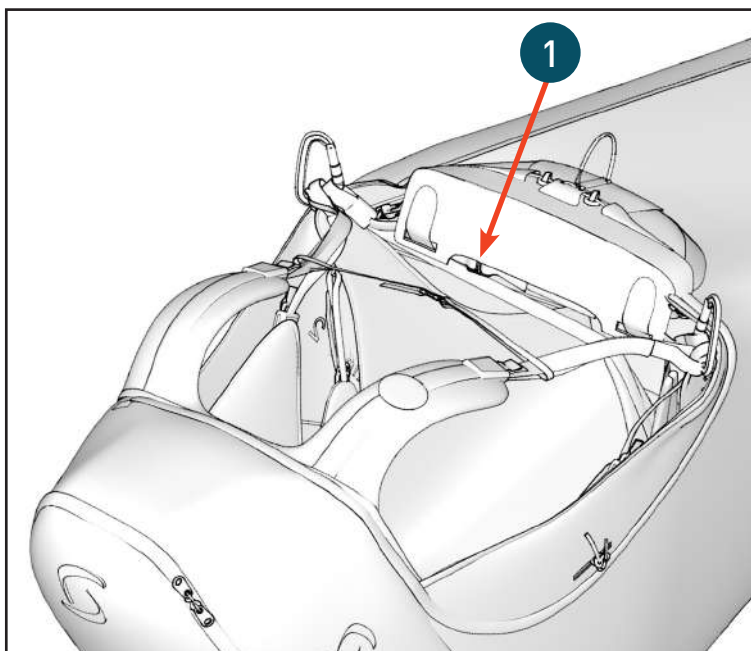
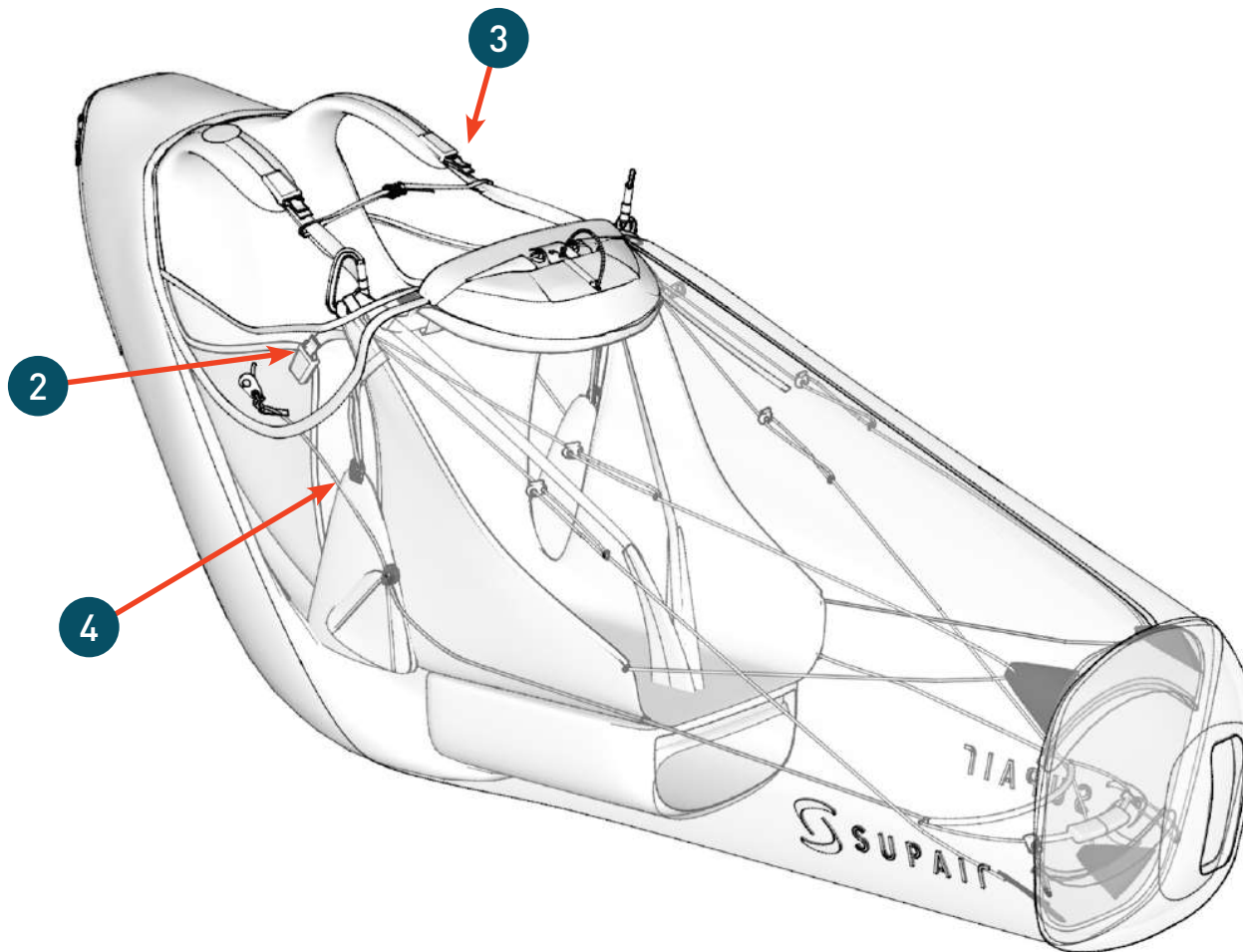




毎テイクオフ前にハーネスの調節をすることは大変重要です

調節項目

- 1 チェストベルト長さ調節
- 2 リクライニング角度調節
- 3 肩ベルト長さ調節
- 4 シート高さ調節

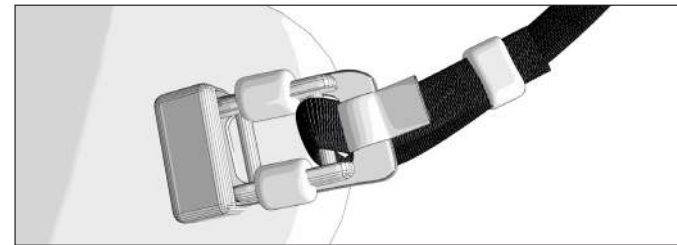


ハーネスの調節

テンションをかけない状態でまずリクライニング角度を調節します。

- テープを締めると、より状態が起きた状態になります。
- テープを緩めるとよりリクライニングした姿勢になります。

← 緩める



締める →



チェストベルトの調節:

考慮すべき長さは左右のカラビナの底部センター間の長さです。適切な長さはパラグライダーのモデルによって違います。パラグライダーメーカーの推奨する長さに合わせてください。

チェストベルトを締めると安定性は増しますが体重移動の効果は減少し、ライザーがツイストするリスクが増大します。

反対にチェストベルトを緩めると体重移動の効果は増大しますが、大気が不安定な場合はリスクが増します(グライダーが潰れた場合に潰れた側に体重が大きく傾く傾向になります)。

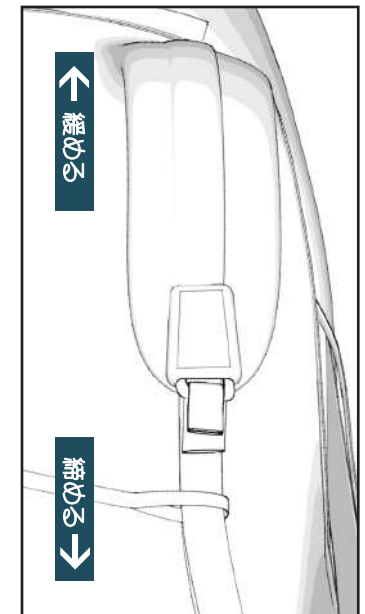
シート高さ調節:

このセッティングは、好みに合わせて腰部のサポート感/シートの深さを調節します。締めるとフライト姿勢がよりフラットになります。緩めると姿勢はより起きた姿勢になります。

肩ベルトの調節:



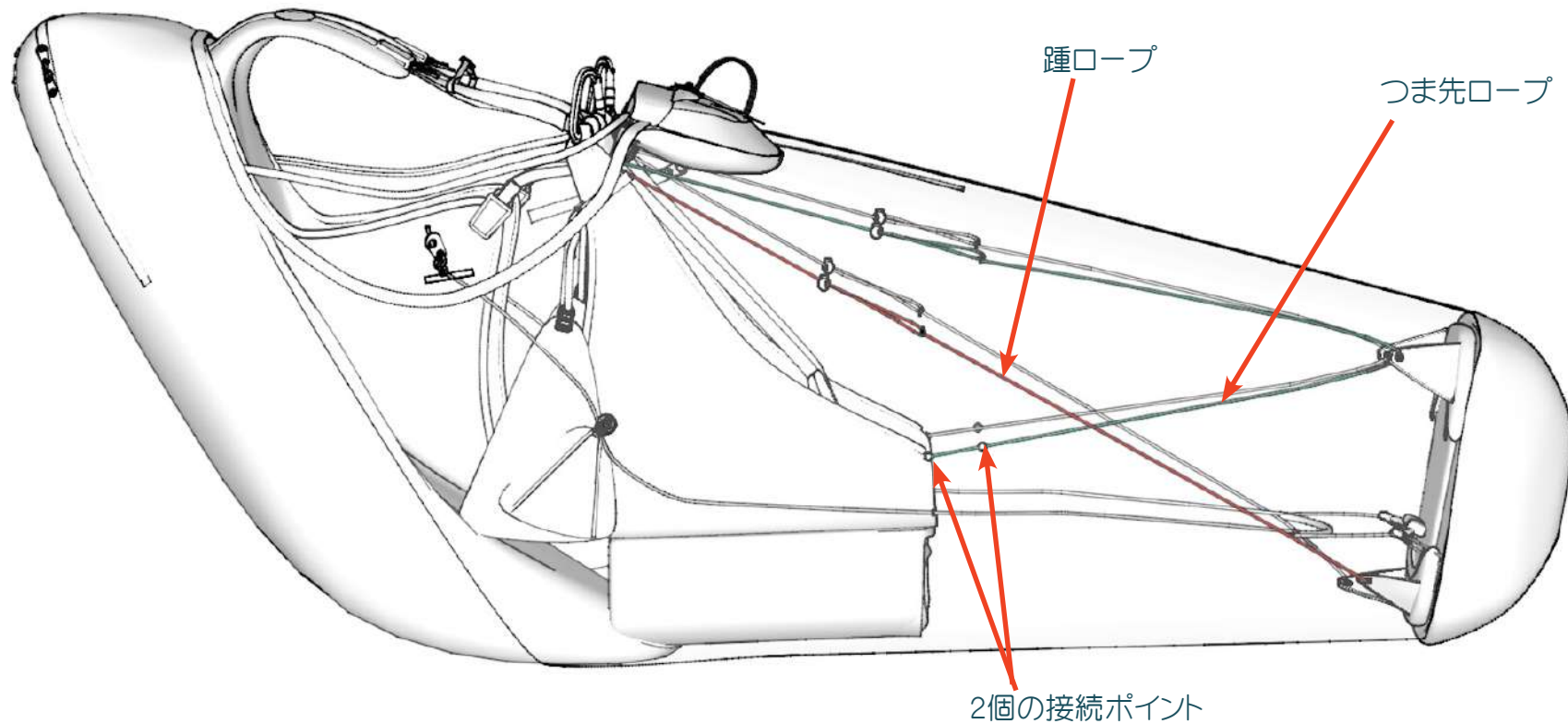
肩ベルトにかかるプレッシャーはフライト中の快適さに大きく影響します。適切な長さに調節することが重要で、長すぎても短すぎてもいけません。きつくならず、かつ上体を心地よくサポートするように調節してください。



スピードバッグの調節

スピードバッグの長さ調節:

ハーネス本体の奥深くしっかりと上体を押し込んで足を伸ばします。



- 1 各ロープを緩めます
- 2 踵ロープの長さを調節します
- 3 つま先ロープの長さを調節します



ロープが長すぎたり短過ぎたりしたら接続ポイントを移動させます。

グライダーとハーネスの接続

ハーネスにグライダーを接続する

ライザーがツイストしないようにハーネスのカラビナに取り付けます。

ライザーの向きが正しいか確認します:Aライザーがフライト方向の前側に来る様に(右図参照)。

最後にカラビナが確実に締められているか確認します。

アクセルの接続

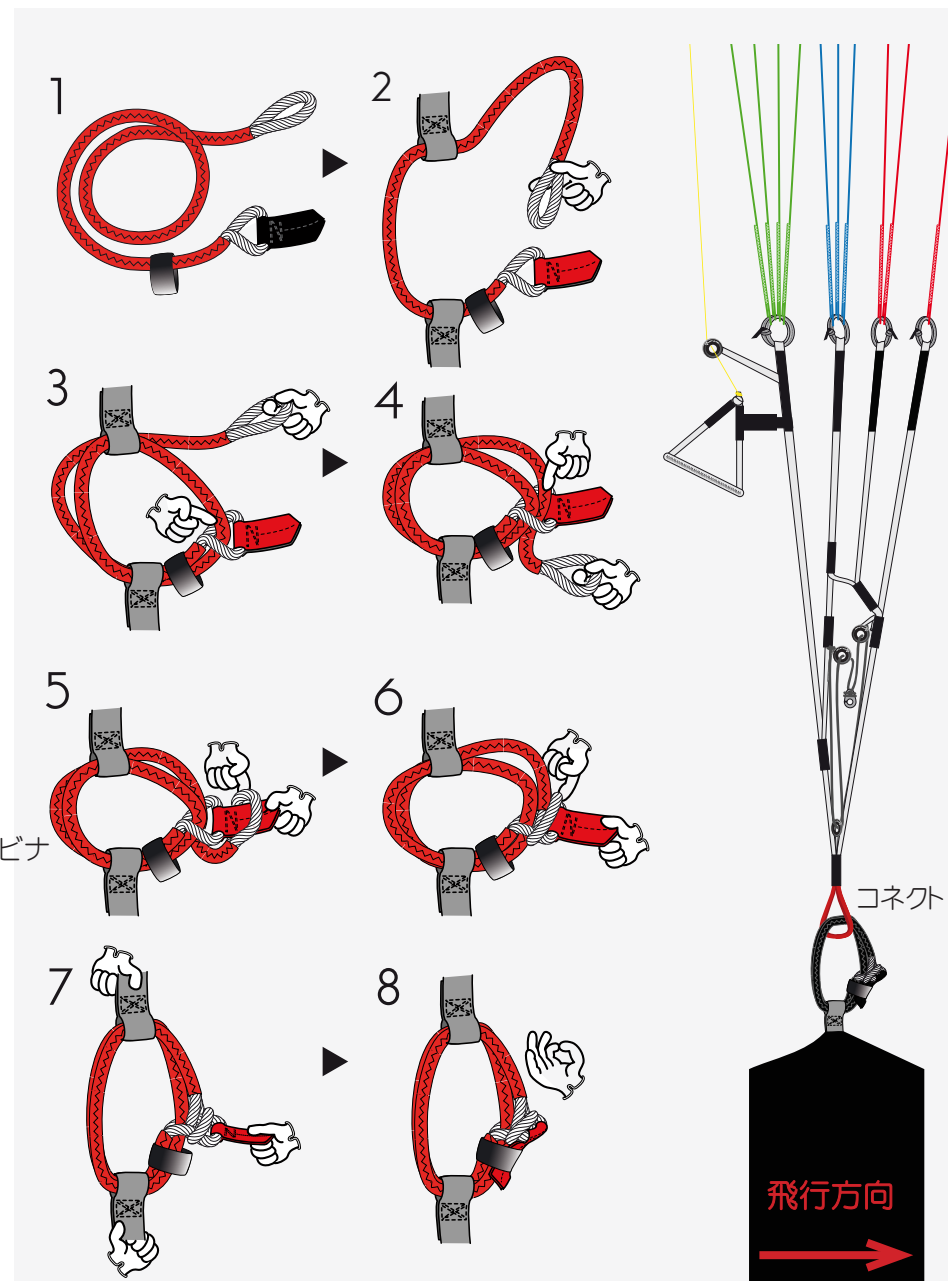
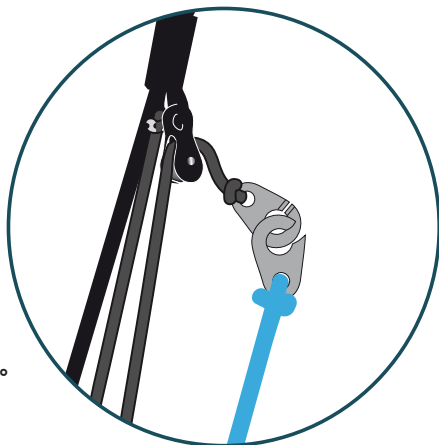
アクセルを12ページの説明にしたがってセットアップします。

アクセル側のブルンメルフックとライザー側のブルンメルフックを締結します。

アクセルが接続されたら、パイロットの体形に合わせてアクセルロープの長さを正しく調節します。



アクセルをフリーにしたときにアクセルロープにテンションがかかっていない様にアクセルロープの長さを調節してください。

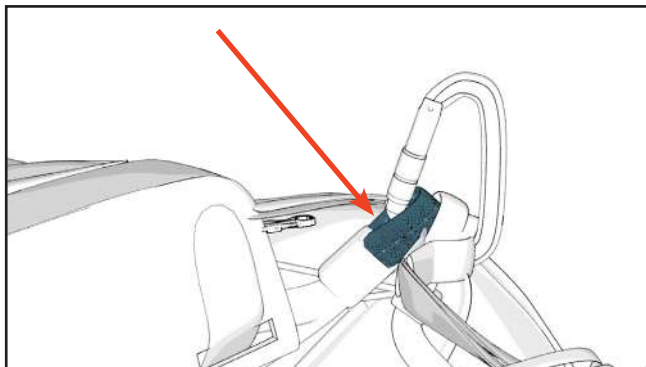


ハーネスの装着

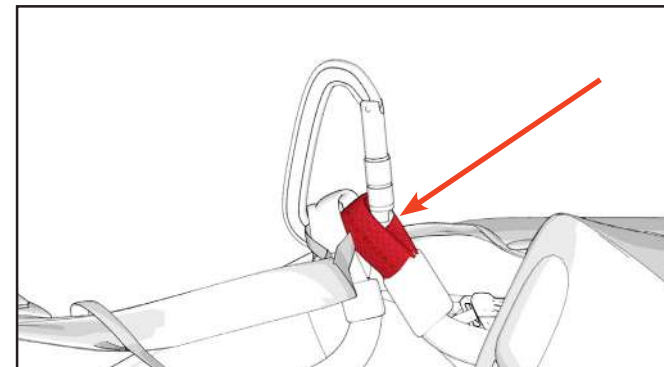
1 肩ベルトを肩に通します。

2 右側のチェストベルトをプリウムカラビナに通して締結します。カラビナのロックを確実に行って下さい。

3 左側のチェストベルトをプリウムカラビナに通して締結します。カラビナのロックを確実に行って下さい。



チェストベルトは対応するサイドを間違わないように色分けされています。

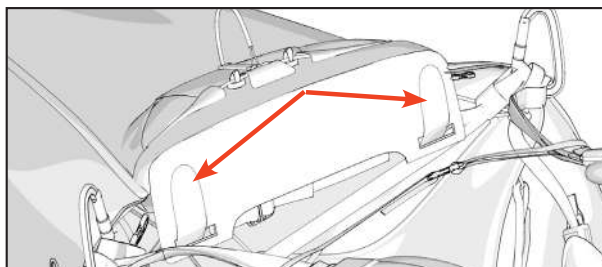


4 スピードバッグの右側にある内側バックルを締めます。

5 スピードバッグの左側にある外側バックルを締めます。



6 レスキューコンテナー保持用ベルクロをチェストベルトに回して締めます。



フライト中の拳動

離陸時のストライク2ハーネスは、軽量でシートプレートのない構造により、優れた機動性を発揮します。空中に出ると、ハーネスが軽いことは気が付かなくなり、快適さがとってかわります。ハーネスは非常に安定しており操縦は大変直感的です。

乗っているグライダーの特性に関わらずストライク2はグライダーのポテンシャルを100%引き出すことが出来ます。

軽量、快適、扱い易さおよびコンパクトなサイズはストライク2をハイクアンドフライならびに軽量バージョンでのクロスカントリーフライトに理想的なものにします！

乱れた大気中ではストライク2は足をまげて直座姿勢でフライトすることが可能です。その状態でコントロールはたやすく快適で、異常飛行状態に陥ったときでも対処できる様になります。

新しいハーネスの特徴を理解するために飛びはじめのフライトは大気の安定した条件下で飛び慣れたエリアで行うことを推奨します。



プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック
- レスキューグルのケーブルが確実に、閉じループを通過してコンテナが正しく閉められているかチェック
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック
- レスキューグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック

テイクオフ

気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着し次のステップへ進みます。



- チェストベルトを締結します。

テイクオフ直後は立ち姿勢を保ち、斜面から十分離れてからスピードバッグに足を入れ、ハーネスに腰を入れ座ります。



斜面近くでは決してブレークグルから手を離さないように。

空中



空中において、ストライク2の挙動は安定しており直感的です。
カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用



グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。
アクセルの使用は、乱気流に、より敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することが出来ます。



警告！ ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります！！
アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては、シートからおしりを前方に出し、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。また常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。
ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するときに目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。
強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。
着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを使う

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキューグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために、意識しなくてもトグルを掴めるようになるよう定期的にレスキューグルを掴む動作を繰り返すことを推奨します。目で見なくてもレスキューグルをつかめる様にするのが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でない、あるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。

レスキューの開傘は緊急時にのみ行ってください。



力強くレスキューグルをサイド方向に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレークを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます（万が一、パラシュートが開傘しなかった場合は、レスキューブライダルを掴み力強く引き込んでください。そうすることでパラシュートの開傘を促すことが出来ます）。

膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

トーイング

トーイングによるスタートには専用のリリースを取り付けなければなりません。
リリースメーカーの指示に従ってハーネスのカラビナ取り付け場所にリリースを接続します。
トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。
ストライク2にはトーイング専用のリリース取付け場所は装備されていません。

必須点検項目

必須の6か月ごとの点検:



- レスキューパラシュートの引き出し検査（トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか）。
- ハーネス全体の状態の検査。

1年ごとの点検:



専門家によるレスキューパラシュートのリパック（パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合）。

クリーニングおよびお手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境(ダート、砂など)で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します:中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。**油は塗らないこと!**

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

耐用年数



以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください。

- テープ類(摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか)
- バックルおよびカラビナの状態(摩耗、クラック、正しく機能しているか)



ストライク2に使われている、糸、テープと生地は、軽さと寿命の最適バランスを考慮して選択されています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的に検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです!



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外(登山やトーイングなど)には絶対に使用しないでください。カラビナは5年あるいは500時間使用したら交換することを推奨します。

レスキューパラシュートは、メーカーの指示に従って定期的にリパックを行ってください。特に指示の無い場合は最低でも1年に1回はリパックを行ってください。

修理

このハーネスの製造には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スップエアーは、保証期間を過ぎた製品でも修理を致します。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールでsav@supair.comまでお問い合わせください。

交換部品

- グリベル製プリュムカラビナ (商品コード : MAILPLUM)
- ダイニーマ製コネク (商品コード : MAILCONNECT)
- カーボン製シートプレート (商品コード S/M用 : MPPL021 L/XL用 : MPPL025)
- スピードバッグ用カーボンフットプレート (商品コード S/M用 : MPPL010 L/XL用 : MPPL024)
- レスキュートグル (商品コード : POISTK2)
- アクセル用接続金具 (商品コード : MPPM050)

素材

生地

スカイテックス 38g Black
 アクアテックライトストレッチ
 軽量生地 100 D Black

テープ

ダイニーマテープ 12 mm
 ナイロンテープ 15 mm

リサイクル

全ての素材は、技術上および環境に対する特性から選択されています。我々のハーネスの構成素材は全て自然に害を与えません。ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。

もしあなたのストライク2が、寿命と判断されたら、全てのプラスチック、金属パーツを取り外し、あなたの地域の最新のごみ収集方法にしたがって処分してください。繊維製品のリサイクルに関しては、繊維製品を担当する地域の機関にお問い合わせください。

保証

スップエアーは、その製品に対するデザイン並びに製造に、大変気を使っています。スップエアーは、その製品に対し、通常の使用における欠陥あるいは設計上の欠点に対し5年間(購入後)保証致します。ただし、不適切あるいは間違った使い方による、また高温、強い日光、高湿度などに、通常ではない程激しく晒されたことによる損傷あるいは劣化に対してはこの保証は適用されません。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。

スップエアー、ファルホークインターナショナル(有)および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛び飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスップエアーの製品は、パラグライディング専用デザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。

フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

バンプエアー衝撃吸収システムに関して

あなたが購入されたハーネスはバンプエアーによる衝撃吸収システムを採用しています。

このプロテクションは、起こりうる衝撃に対してあなたを保護するもので、個人の保護具(PPE)に関するEU基準2016/425に準拠しており、実施基準 SP-00212 / 2016に従って専門家によって認定されています。

ハーネスのプロテクションのCE認証は次の認証機関により実施されました: ALIENOR CERTIFICATION no 2754, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Chatellerault, FRANCE

バンプエアーの保管、運搬および保守はハーネスと同様です。またプロテクションに対する検査もハーネスに対するものと同様です。バンプエアーの保管はバンプエアーを圧縮しない形態で行ってください。



如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分か和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対するの吸収効果はありません。



警告: 衝撃吸収システムのいかなる改造および間違った使用法は、システムの性能を危険となるほど損ない、それらの機能が正しく働かなくなることに注意してください。プロテクションは衝撃吸収する要素が存在しかつ正しく装着されていることが必須です。従って、各フライトの前に次の確認を行ってください:

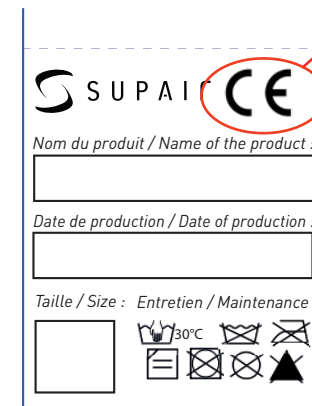
- バンプエアーが正しくハーネスに挿入されている。
- バンプエアーの縫製および状態が良好か(穴、裂け目、ほつれなどが無い)。



バンプエアープロテクションは通常の使用状況では5年の耐用年数があります。**警告!** 激しい衝撃を受けた場合には、すぐさまプロテクションを交換しなければならない可能性があります。激しい衝撃を受けた場合は、資格のある専門家に検査を要請するか、スツプエアー(sav@supair.com)までご連絡ください。

ラベルの意味:

EPI要件に適合していることを示すマーク



テスト結果とEU適合証書は、www.supair.comで確認できます。

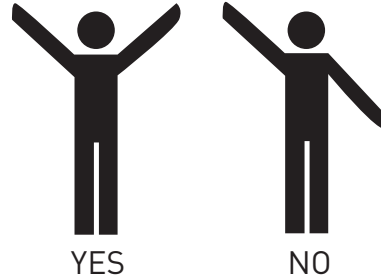
事故後の救助要請

緊急電話番号



| | |
|----------------|-----|
| EUROPE / INDIA | 112 |
| USA / CANADA | 911 |
| CHINA / JAPAN | 119 |
| NEPAL | 101 |
| IRAN | 112 |
| AUSTRALIA | 000 |
| NEW ZEALAND | 111 |

救助要請?



フラッシュライトによるSOS信号:



整備履歴

このページをあなたのハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

| | |
|---------|--|
| 購入日付: | |
| 購入者名: | |
| 販売店名・印: | |

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販 | |
| 日付け | |
| 修理センター名/購入者名 | |

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販 | |
| 日付け | |
| 修理センター名/購入者名 | |

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販 | |
| 日付け | |
| 修理センター名/購入者名 | |

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販 | |
| 日付け | |
| 修理センター名/購入者名 | |



SUPAIR-VLD
Parc Altaïs
34 rue Adrastée
74650 Chavanod, Annecy
FRANCE

輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

info@supair.com
+33(0)4 50 45 75 29

RCS 387956790

■ ■ DESIGNED
■ ■ IN ANNECY

